

やまと

広報

11 月号
2015 No.242



特集

大和村国民文化祭2015開催

もくじ

- 02-05 特集：大和村国民文化祭開催
- 04-05 第53回大和村村民体育大会開催
- 06-11 村の話題：減速帯を設置しましたほか
- 12-13 お知らせ：奄美法律相談ほか
- 14 連載：どうくさむんがたり（大和診療所だより）
- 15 緊急告知：果実の持ち出し禁止について
- 16 連載：野山の匂（ヤマヒヨドリバナ）

大和村観光大使第1号に城南海さんが就任(平成27年11月15日)

大和村国民文化祭

シマにいきづく文化と新たな風（文化）のフェスティバル

第30回国民文化祭鹿児島大会が10月31日～11月15日に開催されました。本大会は「芸術文化の素晴らしさを再認識するとともに、様々な文化芸能に触れ合う機会をもち、伝統文化を絶やすことなく次世代へ引き継ぐ」ことを目的に、県内全43市町村にて独自の祭典を展開。大和村においても11月15日に「シマにいきづく文化と新たな風（文化）のフェスティバル」を開催し、村内外から約1400名が訪れました。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

①大和浜棒踊り保存会
②国民文化祭・展示の部（大和村防災センター）③「まほろば大和」に合わせて舞う日本舞踊④山田末廣さんへ感謝状贈呈⑤荒俣宏さん講演会⑥特設された土俵⑦城南海さん観光大使任命

本フェスティバルは「いにしえの文化」、「新たな風」、「シマジマの夜」の3部構成で開催。開会にあたって伊集院幼大和村長は「大和村で初めての国民文化祭。伝統文化継承の良い機会とらえ、見て楽しむだけでなく、みなさんも共に参加し、大和村の伝統文化の素晴らしさを体感してください。」と挨拶。また、開会に先立ち、毎年大和村に多額のご寄付をお寄せいただき、村発展にご尽力いただいている志戸勘集落出身の山田末廣さん（愛知県）に感謝状と記念品を贈呈し、感謝の意を表しました。

いにしえからの文化

第1部「いにしえからの文化」のオープニングでは、大和村の新しい唄「まほろば大和」が初お披露目されました。作詞は久保忠義さん、作曲・唄は久永美智子さんによるもの。唄に合わせて日本舞踊を優雅に踊る様と、「まほろば大和」の情景が目に見え、浮かぶようなメロディに会場は温かな手拍子が起こりました。続いて大和浜の棒踊り保存会が入場し、勇壮果敢な舞いを実演。青壮年団や中高生が唄者に合わせて鎌やナギナタを力いっぱい振りかざす様子が釘付けとなり、見事な舞を披露しました。

新たな風

第2部「新たな風」では、博物学者で小説家、翻訳家など様々なジャンルで活躍する荒俣宏さんが「自然と文化の宝庫 奄美大島」と題し講演しました。自身が45年前から奄美大島へ来島し続け、大和村今里集落の立神や徳浜の断崖が奄美で印象に残っている場所だと紹介。また、昭和天皇が即位してまもなく、昭和2年に海洋生物調査で奄美大島に来島したエピソードや岩手県平泉市にある中尊寺金色堂の螺鈿細工に用いられているヤコウガイは奄美から運ばれたものであると説明。自然の豊かさが多くの人を魅了し、また日本の文化の繁栄には、奄美という貿易相手は重要であったことなどを語り、荒俣さんの博学多才に舌を巻く講演でした。



優秀賞 武部 守俊「水鏡」



審査員特別賞 松元 涼子「島の子育て」

【まほろばの情景】



優秀賞 奥 昭仁 「いやしの散歩道」



審査員特別賞 福山 由美子「女性/パワー」

続いて、大和村の魅力を一般に広くPRするため、大和村で初となる村の観光大使を任命しました。記念すべき第1号の観光大使は、祖父が大和浜集落出身という縁で歌手の城南海さんに白羽の矢が立ちました。城さんは「大和村には城家の本家があり、墓参りなどで何度も訪れている場所。第1号の観光大使任命を光栄に思う。大和村や奄美をPRし、歌で島を元気にしたい。」と意気込みを語りました。任命にあたり大和村から委嘱状と大島紬の着物一式、観光大使の名刺を贈呈し、その後スペシャルコンサートが開催されました。国直よね姉節などの島唄をはじめ、自身の楽曲など計5曲を披露し、会場は大盛況。歌姫の澄みわたった歌声に来場者たちは終始酔いしれました。

奄美の相撲文化は、大和相撲（立ち会い相撲）と沖縄相撲（組み相撲）、両方の影響を受けましたが、現在広く行われているのは立ち会い相撲で、昭和30年頃から今のスタイルの相撲になったといえます。

相撲の古説は、現在村内4つの集落（湯湾釜・津名久・思勝・大金久）で奉納相撲の前に披露されています。

相撲の古説

「東西、東西、御見物の皆様方に申し上げますのは余の儀ではございません。相撲の古説を申し上げます。」

相撲の始まりは、日本昔、神武天皇様より十一代目、垂仁天皇様の御時代に、大和の国の当麻蹶速と、出雲の国の野見宿弥という人より始まりました。

当麻蹶速は、大ぼら吹き豪胆者、かたや野見宿弥は、なかなかの豪傑者でありまして、当麻蹶速を一蹴り倒しに、蹴り倒しました。

相撲の手は四十八手ございます。そのうち取らん手が八手ございます。

裏手取りなし、頭を突きなし、金を蹴りなし、前を取りなし、

スクビ切りなし、モソデ投げなし、こぶし打ちなし、逆に投げなし、

この八手は取らん手でございます。

本日は、第30回国民文化祭鹿児島国文祭 大和村国民文化祭における奉納相撲大会でありますれば、西、東、共に争論かけなし、相撲の勝負は行事の預かり。

今一度、同じく相撲の古説を申し上げます。

昔、紫の里に鎮西八郎為朝の末孫、同じく十郎朝永は、当年取つてわずか十と六才、なにとて我が力、万人に優れし力あり、そこで我が力を都へ広めんが為、広き所にて、二十五間四方のやないを得、中には十六俵の土俵をつき、縁には四本の柱を立て、上には紫の錦を張り、東は竜の威勢あり、西は虎の勢いあり、全く行事の軍配、扇は日星月の形にして、まだまだ申し上げます相撲の古説は、あまたご座候えども、相撲番数様方に、あらあらの上を持つて広めたり。」



シマジマの夜

第3部「シマジマの夜」では、会場に特設された土俵を中心に独特の雰囲気が始まりました。

元平哲文さん（湯湾釜・45歳）による相撲口上が響き渡ると、村から選りすぐりの力士6名が東西に分かれて奉納相撲を捧げました。

ファイナルは、村内8集落（湯湾釜・名音・大和浜・大金久・今里・津名久・思勝・大堀）の八月踊り。土俵を囲んで男女の掛け合いが続くことに、各集落の八月踊りへ賭ける想いやエネルギーが炸裂したような盛り上がりを見せてました。

この八月踊りを披露するまでそれぞれの集落では、毎日のように公民館などに集まり、八月踊りの練習を重ねてきました。人口減少やライフスタイルの多様化により八月踊りの担い手が減少し、伝承が下火気味な集落もある昨今。始めは八月踊りの披露に乗り気でない雰囲気もありました。しかし、練習を重ねていくうちに熱が入り、参加する人々も徐々に増え、素晴らしい八月踊りを披露するにいたったのです。

この日、集落のお年寄りや青壮年、婦人、子どもたちが一つの輪をつくり、心を合わせて一体になった八月踊りは、まさに各世代へ脈々と文化が受け継がれていく姿そのものでした。私たちは自分の身近にある自然や文化への興味が薄くなりがちです。しかし、奄美の自然や文化は他の地域から見ると当然のことではなく、シマ独自の大切な財産です。今回の国民文化祭の開催を通して、改めて祖先から受け継いだ集落の文化を継承することの意味を考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。

いつまでも残したいわきやシマの 八月踊り



①今里集落八月踊り②ハト笛で会場を魅了した杉島大翔さん③全員参加の六調④思勝集落八月踊り

心を一つに、みんなかがやくまほろば大和

大和村民体育大会成績一覧

種目	1 位	2 位	3 位	種目	1 位	2 位	3 位
小学 1 年女子 100m	重田 好華	久保えみる		ボール蹴り	大 棚	宮古崎	大和浜
小学 2 年女子 100m	大野日菜子	福本 栞南	直島 麗涼	宝つり	大 棚	みねやま・今 里	
小学 3 年女子 100m	中島 心嘉	宮島 瑠璃	井上奈津美	新走回転	大 棚	大和浜	おがみ
小学 4 年女子 100m	林 琉音	中島 心那	前田 和香	俵運搬リレー	大 棚	宮古崎	今 里
小学 5 年女子 100m	賀川 美紀	川畑光智慧	小口 藍果	女子ファミリー縄跳び	大 棚	宮古崎	みねやま
小学 6 年女子 100m	江崎 仁美	佐多 萌笑	稲元 音色	男子ファミリー縄跳び	大 棚	宮古崎・みねやま	
小学 1 年男子 100m	杉島 大翔	元山 絆	村田 翔輝	女子年代別リレー	大 棚	みねやま	大和浜
小学 2 年男子 100m	林 琉葵刀	徳 冠汰	永田 颯太	男子年代別リレー	おがみ	大 棚	宮古崎
小学 3 年男子 100m	元山 漣	小清水潮乙	登喜 健大	女子輪入れ	大和浜	みねやま	おがみ
小学 4 年男子 100m	出見 優斗	奥田 寛太	重田 俊輔	男子輪入れ	みねやま	大 棚	大和浜・名音・宮古崎
小学 5 年男子 100m	久保 颯太	濱井 歩夢	奥平 光	タイヤ回し	大 棚	大和浜	宮古崎
小学 6 年男子 100m	林 二刀流	大石 康平	窪山秀雲万	女子百発百中	大 棚	おがみ・今 里	
中学 1 年女子 100m	森 彩花	中島 心優	勝 えりい	男子百発百中	おがみ・みねやま	大和浜	
中学 2 年女子 100m	林 美嶺	徳島 千聖	塩屋 美空	綱引き	大和浜	みねやま	今 里
中学 3 年女子 100m	中 明日海	福山 祐実	森岡 めい	メディシンリレー	大 棚	大和浜	今 里
中学 1 年男子 100m	出見 颯	直崎 広生	森 聖也	ムカデ競争	大和浜	おがみ	大 棚
中学 2 年男子 100m	賀川 翔瑛	山下 晟弥	政村 紫音	玉入れ	大 棚	おがみ	宮古崎
中学 3 年男子 100m	赤井 将輝	登喜 龍生	小清水 洋	女子ゲートボール	おがみ・今里	大和浜・大棚・みねやま	
中学女子 200m	中 明日海	森 彩花	前田 侑香	男子ゲートボール	宮古崎・おがみ・大棚		
中学男子 200m	赤井 将輝	登喜 龍生	山下 晟弥	男女 2 人 3 脚	大 棚	今 里	宮古崎
高校女子 100m	重信 綾美	田畑 楓	重野 七海	ビン倒し	大和浜	大 棚	宮古崎
高校男子 100m	前田凌太郎	賀川 航太	政村玲於奈	女子水入れ	おがみ	今 里	宮古崎
高校男子 200m	政村玲於奈	前田凌太郎	小田 康太	男子水入れ	宮古崎	大 棚	おがみ
一般女子 100m	賀川明利香	津田 祐美	前里 愛	小学 400m リレー	大 棚	宮古崎	名 音
一般男子 100m	伊集院 将	久保田勝輝	森 信之助	中学 600m リレー	みねやま	宮古崎	大和浜
一般男子 200m	久保田勝輝	泉 大地	重村 智大	高校 600m リレー	おがみ	大 棚	大和浜
30 代以上女子 100m	南 聖子	和泉 和香	白石久美子	一般女子 400m リレー	大和浜	大 棚	みねやま
40 代男子 100m	中濱三四郎	森田 裕三	国副 平剛	一般男子 800m リレー	おがみ	今 里	大和浜
50 代男子 100m	内山 英寿	久永 公人	福山 茂				
60 代男子 60m	福永 則雄	江崎 義廣	坂元 龍馬	新記録			
一般 1,500m	政村玲於奈	小浜 雅寿	直崎 大生	男子水入れ	宮古崎		4.02.00
女子総合	大棚	大和浜	おがみ	男女総合	大 棚	大和浜	おがみ

第53回 大和村村民体育大会 開催



第53回大和村村民体育大会が10月11日（日）に開催されました。今大会のスローガンは、一般から応募された28点のスローガンの中から厳正なる審査の結果、佐多萌笑さん（大棚小6年）の「心を一つに、みんなかがやくまほろば大和」が選ばれました。

大会は大和村11集落を7つに編成したチームで全27競技を争い、熱戦を繰り広げました。各種団体代表による100メートル走を皮切りに俵運搬リレーや玉入れ、みかん拾いやグラウンド・ゴルフなどに幼児から高齢者まで多くの村民が参加。恒例の村一番ジャンケン大会では、奄美―鹿児島往復航空ペアチケットや高圧洗浄機などの豪華賞品を賭けた白熱のジャンケン勝負が展開。会場は終日興奮と笑いで包まれました。

優勝は、大棚集落が8年連続で優勝の座を欲しいままにしました。

また、大会に先駆け優秀スポーツ選手賞を受賞した3名を表彰し、その功績を称えました。

（下写真右から）
 □佐多萌笑さん
 □森山博勝さん
 大会スローガン考案者
 平成27年度第9回鹿児島県障害

者スポーツ大会水泳競技25メートル自由形・50メートル自由形で優勝。

□奥田寛太さん
 全国小学生ABCバドミントン大会鹿児島県大会において、学年別で3連覇。今年熊本で行われた第16回全国小学生ABCバドミントン大会に出場。また、鹿児島県小学生バドミントン大会においても九州大会へ出場。

□直崎京花さん
 平成27年度鹿児島県中学校総合体育大会バドミントン競技シングルスにおいて優勝。九州中学校総合体育大会に鹿児島県代表として出場。

4名のみなさん、おめでとうございました。



銅メダル受賞！凱旋報告

全国障害者スポーツ大会 水泳競技の部

第15回全国障害者スポーツ大会（文部科学省・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会ほか主催）に出場した森山博勝さん（思勝・65歳）が10月28日に大和村役場に来庁し、伊集院幼村長に結果を報告しました。

森山さんは、同大会の水泳競技の部に県代表として出場し、25メートル自由形で見事、銅メダルを獲得。同大会の代表選手を決める第9回鹿児島県障害者スポーツ大会においても25メートル自由形・50メートル自由形で5連覇を達成されています。

報告を受けた伊集院幼村長は、「水泳は全身を使うスポーツ。並々ならない努力の賜。誠にありがとうございます。」と祝福しました。森山さんは、「5年後の鹿児島大会まで現役を続け、飛び込みにも挑戦したい。まだまだ伸びる可能性はありますよ。」と意気込む。

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競

技を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした全国的なスポーツの祭典。2020年には同大会が鹿児島県で開催される予定です。今大会の活躍が次回に繋がるものと大いに期待します。



子宝を祝福 健やかな成長を

2組に出産祝い金を贈呈

出産祝金の贈呈式が11月16日、大和村役場で行われました。対象者は小川信さん（大和・41歳）と小浜雅寿さん（大和浜・35歳）の2名で、ともに第3子の子宝に恵まれました。

伊集院幼村長から「お子さんのご誕生誠におめでとうございます。健やかな成長をお祈りいたします。」と祝いの言葉と共に、出産祝い金を贈られると、小川夫婦から「大変ありがたい。これから子どものために使っていく、しっかり勉強させたいと思います。」と語りました。

出産祝金制度は、大和村の地域活性化や定住の促進を図り、次世代を担う子どもの出生を祝福することを目的とした村独自の制度です。村内に定住している方で出産した方には、第1子20万円、第2子30万円、第3子以降50万円の祝金を贈呈しています。

大和村では出産祝金のほか、児童手当とは別に満6

才までの児童1人に月5000円支給する育児助成金や中学生以下の医療費の全額助成、高校生通学バス定期券代助成など、大和村で安心して心豊かに子育てができる環境を提供しています。

詳しくは大和村役場 保健福祉課もしくは住民税務課（電話：57-2111）までお問い合わせください。



減速帯を設置しました

野生生物に配慮した運転にご協力ください

近年、アマミノクロウサギをはじめとした野生生物が交通事故で死亡しているという悲しい現実があります。クロウサギは夜行性で、見通しが良く開けた林道や河原などでフンをしたり採食したりします。そうしたクロウサギに気づかず、車で轢いてしまう場合があるのです。環境省奄美野生生物保護センターによると、2014年に交通事故で死亡したと判明した個体だけでも9頭。2015年10月末では15頭ものクロウサギがその被害に遭い死亡しています。また、クロウサギの繁殖期で行動が活発になる毎年9月～12月には交通事故の発生数が増加する傾向にあるそうです。

こうした状況を踏まえ、奄美大島5市町村で構成する奄美大島自然保護協議会では、今年度各市町村内の道路に減速帯の設置を行いました。大和村では、クロウサギの生息域である村道田検福元線に2カ所減速帯

を設置しています。村道沿いにはクロウサギのフンや食痕が見られ、ここが野生生物の生息地だということがわかります。

減速帯の手前ではスピードを緩め野生生物へも安全運転で走行してくださいませよう、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



フラワーアレンジメントに挑戦

鹿児島県フラワー協会主催

大和小学校（山口美帆子校長）で10月23日、「花とのふれあい授業」が開催されました。

子どもたちに花に親しんでもらうことを目的に鹿児島県フラワー協会が主催する同授業は、講師に花屋「HANARIN」を営む山元鈴香さんを迎え、5・6年生10名が参加。6種類の草花を使って花器に花を飾っていくフラワーアレンジメントを体験しました。

鹿児島県が有数の花の産地であることや、フラワーアレンジメントの基礎を学んだあと、いよいよフラワーアレンジメントに挑戦です。山元さんによると、「アレンジメント」とは「整理整頓をすること」で、順序正しく草花を配置してきれいに見えるようにすることだそう。実際に花が配られると、「お花屋さんの良い匂いがする」と歓声が上がりましたが、初めてのフラワーアレンジメントに緊張の面持ち。シダの葉で輪郭をとり、大きな花から飾るのがコツだと教えてもらい

ながら、花を選び、好みの大きさや長さにカットし、取り組む姿勢は真剣そのもの。バランスよく花を配置するのに苦労しながらも作り上げると満足そうな表情が見られました。賀川美紀さん（5年生）は、「楽しかった。親戚の家にプレゼントしたい。」と笑顔で話していました。



共に支え合い半世紀

晴れやかに合同金婚式を開催

平成 27 年度大和村合同金婚式が 11 月 25 日に大和村体育館で行われ、出席された 2 組のご夫婦をご家族や村関係者が祝福しました。

式典では、金婚式を迎えたご夫婦の 50 年間の歩みやエピソードを紹介。ご夫婦には記念写真と花束が贈呈されました。開会のあいさつでは伊集院幼村長からご夫婦にねぎらいの言葉とこれまでの功績に対し感謝の言葉が述べられたほか、宮田到村議会議長からご夫婦の益々のご長寿を記念して祝辞が述べられました。祝宴は、森山博勝さんと石岡春代さんによる祝唄や麓幸子さんたちによる祝舞など、華やかな余興を披露。会場は笑顔と笑い声に包まれました。

出席した今井喜秀幸さんは「5 人の子どもたちも立派に成人し、9 人の孫にも恵まれ、先日の 11 月 22 日（いい夫婦）には「国直米姉」に負けないきょうむんのひ孫が誕生しました。これからも家族仲良く暮ら

していきます。」とお礼の言葉を述べられました。金婚式を迎えたご夫婦のみなさん、いつまでもお元気で仲良くお過ごし下さい。

写真左から松尾キクさん（75 歳）勉さん（80 歳）名音・伊集院幼村長・今井喜秀幸さん（77 歳）ツヤ子さん（73 歳）大柵



ミカンコミバエ早期根絶を目指して

村内にテックス板設置・植物調査実施

ミカンコミバエの早期根絶を目指し 12 月 2・3 日にかけて、大和村の全集落にテックス板を設置しました。テックス板はミカンコミバエのオスの成虫を誘引する香料の一種であるメチルユジノールと殺虫剤を混ぜ、木材繊維板に染みこませたものです。オスの数を減らすことでメスがオスと出会う機会を減ら

し最終的に根絶を目指します。また合わせて集落内に自然に生えたバンシロウなど果樹の植物調査も実施し状況収集を行いました。ミカンコミバエは卵を果樹に産卵するため、過熟した実などを取り残さないよう管理をお願いします。また、放置農園等の情報をお持ちの方は産業振興課（57-2153）までお知らせ下さい。



オオミズナギドリを保護

渡りの季節にはご注意ください

湯湾釜公民館で 11 月 15 日にオオミズナギドリが保護されました。保護した森亮さん（湯湾釜、33 歳）はその対処に困り役場へ連絡。見たところ大きなケガはなかったため、ダンボールの中で保温しながら一晩様子を見ました。翌日、環境省奄美野生生物保護センターの水田アクティグレングレンジャーに対処方法を相談。やはりケガは無かったため嶺山公園から放鳥を試みました。実はこの鳥、地面から直接飛び立つことができないため、墜落したら最後、飛び立てずにそのまま地面にうずくまってしまいます。そのため、滑空できる嶺山公園のような高台から写真のように鳥を掲げてやると、自分で翼を広げ飛んでいきます。この個体もこの後元気に飛び立っていました。

水田さんによるとオオミズナギドリは、一年の大半を海洋で暮らす海鳥ですが、渡りの時期である 11 月頃には集落近くでも見つかることが多いそうです。そ

れは、夜飛んでいるときに街頭などの人工的な明かりに惑わされ、ふらふらと墜落してしまうからだそうです。放っておくとネコなどに襲われる可能性もあるので、もし地面にうずくまったままの鳥を見つけた場合は奄美野生生物保護センター（55-8620）まで連絡してください。



みんなで一緒に英語で話そう

保育所生を対象に初の英会話教室開催

保育所生を対象とした英語体験クラスが 11 月 18 日、大和村役場で行われました。英語に関心を持つきっかけになればと村が企画し、今回初めて開催されました。村内 3 つの保育所のびわ組以上の子ども 20 名が集まり、英語を使ったダンスなどを体験。講師は、村内の小中学校でも教えている英国出身の David Vick（デイビッド・ビック）さん。村内ではなかなか出会わない外国人の先生にどのような反応をするかと心配そうな大人たちでしたが、子どもたちから「Hello!（ハロー）」と大きなあいさつが返ってきて、ビック先生もびっくり。元気に英語で挨拶を繰り返したり、音楽にあわせて体を動かしたりと、英語の音とリズムに親しみました。

ビック先生は「子どもたちは先入観がなく、すんなりと英語を受け入れることができる。大和村の子どもはパワーがあって素晴らしい」と語っていました。福

山鈴音ちゃん（大和保育所・6 歳）は、「先生が変な言葉を言っていておもしろかった」と、耳慣れない英語の発音にも興味を持って楽しむことができたよう。初めて聞く言葉でも上手に真似して発音する姿に、子どもたちの外国語を吸収する能力に限りない可能性を感じました。



奄美法律相談センターお知らせ

毎月第一、第三、第四木曜日に奄美市にて鹿児島弁護士会が「奄美法律相談センター」を開催しています。相談は無料となっておりますので、法律関係でお困りの方はご利用ください。

なお、相談は予約制となっておりますので、詳しくは左記にお問い合わせ下さい。

□開催日時

開催日	時間
毎月第二木曜日	午後1時～4時30分
毎月第三木曜日	午前9時30分～11時30分
毎月第四木曜日	午前11時～12時・午後1時～3時30分

□問い合わせ先

奄美市市民部市民協働推進課市民生活係
電話：0997-52-1111

登記相談のご予約

鹿児島地方法務局奄美支局の登記相談予約先は、左記のとおりです。登記相談をされる方は、事前に電話予約をお願いします。

- 相談日：月・水・金（祝・祭日を除く）
- 相談時間：午前9時～12時
午後1時～4時
- 予約先：鹿児島地方法務局奄美局
- 電話：0997-52-0376
- 住所：奄美市名瀬入舟町23番1号

がん陽子線治療をご存じですか

□陽子線治療とは

放射線治療のひとつで、水素の原子核を利用した治療です。これらの粒子を光速近くまで加速し、がん病巣に向けて照射します。陽子線治療は、がん病巣を狙い撃ちできるため、周辺の正常組織への影響を最小限に抑えることができるため、副作用も少なくてすみます。治療中は、熱や痛みを感じることはありませんし、1日約20分程度の治療を受けて頂くだけです。

□陽子線で治療できる臓器について

陽子線治療は正常な組織にダメージを及ぼすことなく、また患者さんに苦痛を与えることなく、がんだけをピンポイントに狙い撃ちできます。頭頸部、肺、肝臓、膵臓、腎臓、前立腺がんなどのがんに対して有効です。但し、胃や十二指腸、大腸などの消化管およびこれら消化管と接している卵巣などの臓器、膀胱などは対象外となります。

□陽子線治療の治療費については、全額自己負担となります。

鹿児島県においては、平成23年4月より「陽子線治療」を受けやすい環境を整備するため、患者さんまたはその家族などが、銀行などから治療費の借入れを行った場合の利子の一部を助成する制度「粒子線がん治療費利子補給事業」も開始されています。

放送大学 4月生募集

放送大学では平成28年度第1学期（4月入学）の学生を募集中です。

放送大学はテレビ等の放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

□15歳以上の方なら、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

□18歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら、入学試験はなく、全科履修生として入学でき、4年以上在学して、12単位を修得し卒業すると、学資（教養）の学位を取得できます。

□一つの分野を体系的に学びたい方には「放送大学エキスパート」を実施しています。

□出願期間は第1回は2月29日まで、第2回目は3月20日まで。資料を無料で差し上げています。

□問い合わせ先
放送大学鹿児島学習センター
電話：099-239-3811
※放送大学ホームページでも受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

陸上自衛隊 生徒募集

高等工科学校とは、将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持つて対応できる自衛官となる者を養成するために、中学校卒業者を対象に採用する制度です。

□生徒の待遇

身分：特別職国家公務員（生徒）※自衛官ではありません。
手当：生徒手当月額9万6千円（平成26年4月1日現在）
期末手当：年2回（6月、12月）
衣食住：全員が駐屯地で生活し、宿舎は無料、食事・被服類・寝具については、支給又は貸与
休日・休暇：週休2日制、祝日、年末年始休暇等
医療施設：自衛隊病院、駐屯地医務室
福利厚生：防衛省共済組合

卒業資格：提携する通信制高等学校（神奈川県立横浜修悠館高等学校）に入学し、生徒課程終了時に高等学校の卒業資格を取得することもできます。

- 募集要項
- ・高等工科学校生徒 一般
- 募集人数：約260名
- 資格：中卒（見込含）17歳未満の男子
- 受付期間：平成27年11月1日～平成28年1月8日

鹿児島障害者職業能力開発校

平成28年度の障害者訓練生の募集についてお知らせします。

鹿児島障害者能力開発校では、障害をお持ちの方々に対して、その適正に応じた職種について、時代のニーズに応えられる知識・技能を習得してもらい、職業人としての自立を支援するため、各種の職業訓練を実施しています。

- 募集期間：C日程（平成27年11月25日～12月22日）D日程（平成28年1月18日～2月12日）
- 試験場所：鹿児島障害者職業能力開発校
- 試験内容：筆記試験（国語・数学）及び面接

□訓練科目：情報電子科・デザイン製版科・建築設計科・義肢福祉用具科・OA事務科・アパレル科・造形実務科

□応募資格
身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳保持者（手帳のない方はご相談ください）。

□入学金・授業料 無料

□その他
練期間中は、訓練手当など支給される場合があります。詳細は当校または最寄りの公共職業安定所にお問い合わせください。

□問い合わせ先
鹿児島障害者職業能力開発校
電話：0996-44-2206
FAX：0997-44-2207

試験期日：一次 平成28年1月23日
二次 平成28年2月4日～7日までの間の指定する1日
合格発表：一次 平成28年1月29日
最終 平成28年2月19日
入校：平成28年4月上旬
待遇：その他：3年生修了時に自衛官（陸士長）に任用

□問い合わせ先
自衛隊鹿児島地方協力本部 奄美大島駐在員事務所
住所：奄美市名瀬永田町17-3大島支庁内別館3階
電話：0997-53-9103
その他、詳細については奄美大島駐在員事務所までご連絡ください。



年金事務所からお知らせ

奄美大島年金事務所では、お客様サービスの向上、窓口相談における待ち時間解消と相談時間の短縮を図ることを目的として、予約制で年金相談を行っております。年金相談のご予約は、相談希望日一ヶ月前からお電話又は年金相談窓口でお受けしております。

ご予約を受ける際には、相談者及び配偶者氏名、基礎年金番号、電話番号、相談内容等について確認させていただきます。代理人の場合には、委任状と来所させれる方の本人確認ができるもの（運転免許証等）が必要となります。

□予約お申込み電話番号
奄美大島年金事務所 お客様相談室
電話：0997-52-4341
（音声アナウンス後（途中で可）1番の後に2番をダイヤルしてください）



奄美大島から果実の持ち出しが禁止

ミカンコミバエのまん延を防ぐ

奄美大島では、果実等に被害を与えるミカンコミバエの防除を行っています。ミカンコミバエの島外へのまん延を防ぐため、植物防疫法により、ポンカンやタンカンなどの果実は、**12月13日より奄美大島（加計呂麻島、請島、与路島を含む）から島外への持ち出しが禁止となりました（違反すると罰せられることがあります）。**

【移動規制対象の主な果実】

ポンカン・タンカン・レモン・その他のかんきつ類・マンゴー・グアバ（バンシロウ）・パッションフルーツ・パパイヤ・スモモ・ドラゴンフルーツなどの生果実・成熟バナナ（黄熟バナナ）・トマト・ナス・ピーマン・トウガラシなどの果実。

※加工品は規制の対象外です（カットフルーツなどの単なるカットしたものは規制の対象です）。

※青バナナ（未熟果）は規制の対象外です。

記載以外にも対象になる果実がありますので、詳しくは門司植物防疫所名瀬支所（TEL0997-52-0459）へお尋ねください。

【規制の内容】

奄美大島全島で入手した対象果実は、①島外への持ち出しはできません（消費のための島内移動は可能です）。インターネット通販、宅配便、手荷物などその手段を問わず、持ち出し禁止となります。※島外で生産され奄美大島に持ち込まれたものについても規制の対象になります。

②加工品は移動規制の対象外です（ただし単なる切断は除く）。

【問合せ先】

農林水産省門司植物防疫所名瀬支所：0997-52-0459

大島支庁農政普及課農業振興係：0997-57-7265

大和村役場産業振興課：0997-57-2153

こせきの窓

人口 1,590 人（△ 54）
男 773 人（△ 27）
女 817 人（△ 27）
世帯 867 戸（△ 16）

11月1日現在
（前年同月比）

土俵入りを笑顔でこなし、
ママの元に戻って抱っこに大喜び♪



佐藤 心南さん
保護者：佐藤博行・美保さん（思勝）

島の宝
満1歳おめでとう

ご結婚おめでとう

政 裕大さん（奄美市）
愛川 怜さん（国直）

ご誕生おめでとう

小川 華鈴さん（保護者：小川信）

お悔やみ申し上げます

森 誠一様（73歳・思勝）
畑島 孝子様（54歳・大和浜）
河野 サツエ様（91歳・大金久）
川下 チワ様（94歳・国直）
岩井 勝枝様（85歳・戸巴）
里 ウエ様（92歳・大棚）
濱川 利子様（84歳・大金久）
福山 福藏様（66歳・名音）

香典返し（社会福祉協議会へ）

森 勝子様（故森誠一様）
畑島 健志郎様（故畑島孝子様）
河野 守様（故河野サツエ様）
川下 昭吾様（故川下チワ様）
里 由美子様（故里ウエ様）
福山 東剛様（故福山福藏様）

ふるさと納税ありがとうございました

川畑 裕子様（横浜市）
夜西 薫様（名古屋市）
元山 俊一様（大阪府）

今回は、インフルエンザについてお話いたします。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスの感染によって起こる病気です。主な感染経路は、咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染です。症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの症状が突然現れます。のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。お子様ではまれに急性脳症を、高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴う等重症になることがあります。

検査は咽頭ぬぐい液や鼻汁材料を用いたインフルエンザ抗原検出キットにて約10分で判定できます。治療に使われる抗インフルエンザウイルス薬は、発症から48時間以内に開始すると発熱期間は通常1〜2日間短縮され、鼻やのどからのウイルス排出量も減少します。インフルエンザを予防するために、流行前のワクチン接種が有効です。ワクチン接種を受けた高齢者は、死亡の危険が1/5に、

入院の危険が約1/3から1/2にまで減少することが期待できると言われています。65歳以上の方と、60歳以上で心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の回りの生活を極度に制限される方は定期の予防接種の対象となっています。

日本では、インフルエンザは例年12月〜3月頃に流行し、1月〜2月に流行のピークを迎えます。ワクチン接種による効果が出現するまでに2週間程度を要することから、毎年12月中旬までにはワクチン接種を終えることが望ましいと考えられます。そのほか、咳エチケットやくしゃみを他の人に向けて発しない、流水・石鹸による手洗い、アルコールによる消毒、適切な湿度（50〜60％）を保つこと、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取も重要です。

一般的に、インフルエンザは発症前日から発症後3〜7日間は鼻やのどからウイルスを排出します。排出されるウイルス量は発熱とともに減少しますが、解熱後もウイルスを排出するといわれています。排出期

間の長さには個人差がありますが、咳やくしゃみ等の症状が続いている場合には、不織布製マスクを着用する等、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。現在、学校保健安全法では「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」をインフルエンザによる出席停止期間としています。

現在、大和診療所でもワクチン接種を行っています。一般の方は3,000円、定期的予防接種対象の方は1,000円です。何かご不明な点は、診療所までお電話をください。（5712053）



大和診療所だより

vol.13

どうくさ

むんがたり

文／小川 信

参考文献

- 1) 厚生労働省ホームページ file:///Users/shin/Desktop/インフルエンザ原稿/インフルエンザ Q&A ー 厚生労働省 webarchive
- 2) 平成二年度 厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症研究事業「インフルエンザワクチンの効果に関する研究（主任研究者：神谷齊（国立療養所三重病院）」

野山の



アサギマダラを支える陰の立役者

ヤマヒヨドリバナ

第17回



ヤマヒヨドリバナは、四国・九州以南に分布する高さ1m程のキク科の多年草。9月～11月頃に白色または淡いピンク色の花を咲かせます。

この花にチョウがとまっていたら、それはきっと、奄美で集団越冬をするリュウキュウアサギマダラか海を渡ってやってきたアサギマダラでしょう。ヤマヒヨドリバナは、これらのチョウがとりわけ好んで訪れる花として知られています。

その花は白くて可憐ではありませんが、決して派手な姿ではありません。それなのになぜヤマヒヨドリバナは他の草花よりもこれらのアサギマダラを魅了するのでしょうか。

それは、この花にふくまれる化合物・ピロリジンアルカロイドが関係しています。オスのアサギマダラはヤマヒヨドリバナの蜜を吸うことで、この物質を体内に蓄えます。そして、メスを誘惑するためのフェロモンを作る原料にしているのです。これが、アサギマダラが数ある草木の中でもヤマヒヨドリバナを好む理



由です。しかし、これだけではありません。

この花は、アサギマダラの身を守る役割も果たしているのです。ピロリジンアルカロイドは毒性を持っています。この有毒物質を体内に蓄えていると、他の動物が食べるとき苦くて不味いのだとか。そんな苦いチョウを鳥などが好むはずはありません。ちなみに、ワnfネなど島の料理に欠かせないツワブキはしっかりとアク抜きをしないと食べられません。ツワブキもこの物質を含んでいるからだそうです。

数ヶ月ものあいだ枝にしっかりとしがみつきの寒い季節を堪え忍ぶリュウキュウアサギマダラ、そして日本で唯一知られている最長2千キロもの「渡り」をするチョウ界のスーパースター・アサギマダラ。一方、お世辞にも華やかとはいえない地味なたずまいのヤマヒヨドリバナですが、この花こそがアサギマダラにとって生命線ともいえる大事な役割を担っているのです。



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページ携帯サイトへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接URLを入力してアクセスしてください。
(<http://www.vill.yamato.lg.jp/i/>)

発行・編集 大和村役場総務企画課
〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100番地
TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161
mail:info@vill.yamato.lg.jp
<http://www.vill.yamato.lg.jp>